
*

*

*

*

*

*

令和 2 年 度

*

*

*

*

*

事 業 報 告 書

*

*

*

*

*

*

目 次

社会福祉法人 狛江福祉会	1 ページ
特別養護老人ホーム こまえ苑	10 ページ
高齢者デイサービスセンター こまえ苑 ..	23 ページ
地域包括支援センター こまえ苑	42 ページ
居宅介護支援事業所 こまえ苑	49 ページ

*

*

*

*

*

*

社会福祉法人 狛江福祉会

*

*

*

*

*

*

*



こまえ苑

*

*

1. 総括

(はじめに)

令和2年度は、事業開始から25年という節目の年度でしたが、新型コロナウイルス感染症という未曾有の困難に見舞われ、年度当初からその対応に追われた今までにない厳しい年度になりました。幸いなことに、各職員等の協力により一人も職員に陽性者は出ず施設内クラスターも発生しませんでした。

特別養護老人ホームおよびショートステイの稼働率は、95.6%と昨年より1.2%下がりましたが、介護報酬は介護職員特定処遇改善加算の通年取得や介護度の重度化により増収になりました。ショートステイは今年度も特養空床利用などの工夫を試みましたが、新型コロナウイルスの感染をおそれて利用を控える傾向もあり、稼働率は94.6%から80.7%と大幅に減少しました。デイサービスにおいても、通所介護、認知症通所介護ともに低い稼働率で推移しているなかで、今年度はさらに厳しい状況となりました。訪問サービスの利用もショートステイ、デイサービスと同様利用控えの影響から大幅な減少となっております。地域包括支援センターにおいては、地域活動の多くが中止となり相談件数が減少するなか、情報誌「いこいの便り」を発行することで地域の窓口の周知活動に取り組んだほか、来年度にむけたICT機器を活用したオンライン介護予防教室実施の準備を進めました。居宅支援事業については、昨年よりケアプラン件数が36%増えたことにより大幅増収になりました。

経営ビジョンの「収入の確保」のために、新型コロナウイルス感染症による小学校休業等に伴う特別休暇要綱創設で、両立支援助成金を獲得、さらには新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金等を獲得し、職員への慰労金、劣化した備品の更新に充当することができました。また、「コストの削減」としましては、電力供給会社変更により下半期は2割の電気料金削減を達成しました。

人材確保では、東京都介護職員宿舎借上げ支援事業、介護職員奨学金返済・育成支援事業の活用など人材採用活動の継続で、今年度も正規職員の新卒者採用ができ、離職率も3%に抑制しました。

事業の充実及び効率的な運営を図るうえで、担い手である職員を育てることが大変重要になります。そのため令和2年度も継続的な「人材育成」に力を入れてきました。「人材」は「組織の財産」です。「人材」を「人財」として捉え、職員一人ひとりの適性を見極め、苑内研修のみならず東京都社会福祉協議会や民間企業の外部研修を受講することで介護に必要な知識や技術の習得だけでなく、組織人としてのマナーアップ及び専門性の向上にも努めました。資格取得及び自己啓発の自主研修制度を充実させたことで介護福祉士資格を1人取得しました。現場スタッフのスキル向上は、仕事へのモチベーションを高揚させ、組織の一員としての自覚をより芽生えさせ、職場の定着率上昇につながります。職員全体の知識レベルが底上げされることで、より質の高い介護へと進み職員同士の共通の会話内容も自然に増え、人間関係の向上にもつながっていきます。

今後とも、“長年住みなれた地域や家庭でいつまでも生活したい”という、市民の方々の強い希望と熱意にこたえるために、またwithコロナ時代という困難な状況に対しても、職員一同力を合わせてこの試練を乗り越えてまいります。現状に満足することなく常に“改善・改革”を加え、サービス事業の体質改善・強化による経営基盤の安定化のもと、サービスの向上に努めてまいります。

2. 理事会・評議員会の開催状況

理事会・評議員会の開催年月日、議題等は次のとおり。

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
第一回 理事会	令和2年 6月5日 金曜日 (書面)	(1) 報告事項 報告第1号 苦情解決第三者委員取扱いの苦情について(平成31年度分) 同第2号 狛江市実地検査に係る指導事項等について (2) 議 案 議案第1号 平成31年度事業報告について 同第2号 平成31年度財務報告について 同第3号 評議員会の招集事項の決定について 同第4号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑就業規則の一部改正(案)について 同第5号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑新型コロナウイルス感染症による小学校休業等に伴う特別休暇取得に関する取り扱い要綱(案)創設について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第一回 評議員会	令和2年 6月22日 月曜日 (書面)	(1) 報告事項 報告第1号 平成31年度事業報告について (2) 議 案 議案第1号 平成31年度財務報告について (3) 協議事項 ① 次回評議員会の開催日程について (4) その他
第二回 理事会	令和2年 10月30日 金曜日 (書面)	(1) 報告事項 報告第3号 各事業上半期利用状況について (2) 議 案 なし (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他

<p>第 三 回 理 事 会</p>	<p>令和3年 1月29日 金曜日 (書面)</p>	<p>(1) 報告事項 報告第4号 監事監査の結果について</p> <p>(2) 議案 議案第6号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について 同第7号 令和2年度の主要な業務契約について 同第8号 令和2年度補正予算(第2号)について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
<p>第 四 回 理 事 会</p>	<p>令和3年 3月30日 火曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第5号 介護老人福祉施設に係る福祉サービス第三者評価受審結果について</p> <p>(2) 議案 議案第9号 令和2年度補正予算(第3号)について 同第10号 事業計画について 同第11号 令和3年度予算について 同第12号 指定訪問介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準訪問型サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第13号 施設長の交代について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>

3. 共通部門

(1) 職員の配置状況

令和3年3月31日現在

施設 職 種	特別養護 老人ホーム	高齢者デ ィサービスセンター	地域包括 支援センター	居宅介護 支援事業所	計
施設長	1				1
副 苑 長					
事務員	3	1 (1)	(1)		4 (2)
生活相談員	2	2 2 (兼務再掲)			4
介護職員	28(15)	7 (6)			35(21)
保健師			1		1
看護職員	4 (2)	1 (3)	1		6 (5)
管理栄養士	1				1
主任介護支援専門員			1	2	3
介護支援専門員	1 (兼務再掲)		(2)	3 (1)	3 (3)
社会福祉士			1		1
機能訓練指導員	1				1
サービス提供責任者		3			3
ヘルパー		(22)			(22)
運 転 手	(2)	(5)			(7)
医 師	(3)				(3)
居室整備	(2)				(2)
調 理 員	委 託				
計	40(24)	14(37)	4 (3)	5 (1)	63(65)

注：() 内は非正規職員の別掲。

(2) 正規職員採用・退職状況

<特別養護老人ホーム>

採 用

職 種	年月日	令和2年	計	摘 要
		4 / 1		
介護職員		1	1	
計		1	1	

退 職

職 種	年月日	令和2年	計	摘 要
		6 / 30		
介護職員		1	1	
計		1	1	

<地域包括支援センター・居宅介護支援事業所>

採 用 該 当 な し

退 職

年月日 職 種	令和3年		計	摘 要
	2/28			
介護支援専門員	1		1	
計	1		1	

(3) 職員研修実施状況

1) 施設外研修

①東京都及び関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
東京都認定調査員新任研修 (Web研修)	5月 (1日間)	6
東京都地域包括支援センター職員研修 (初任者研修)	7/29	1
キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者研修) 新卒者	12/24～25月 (2日間)	1
自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修事業	10/23、12/5	1
東京都認知症介護実践者研修	10/1～11/5 (6日間)	1
生活支援コーディネーター 現任者研修 I	9/25～2/16 (6日間)	1
東京都入退院時連携強化研修	12月 (2日間)	1
スキルアップ研修【医療的知識編】	11～12月 (1日間)	2
東京都在宅療養支援窓口取組推進研修	3/10	1

②東京都社会福祉協議会関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
ショートステイWEB情報交換会	2/25	1

③各種研修会等

名 称 等	開催日程	人数
区市町村介護予防事業担当者向け研修	7月～10月 (5日間)	1
2020年度認知症地域づくり支援研修プログラム withコロナ時代の「居場所」「つながり」のカタチー感染症流行下に認知症高齢者・家族の社会的孤立をどう防ぐか? (Web研修)	12月 (1日間)	1
若年性認知症相談支援研修	11/26	1
家庭裁判所研修	1/20	1
認知症地域対応力向上研修	1月 (2日間)	1

介護報酬改定（栄養関連）研修会・オンライン（介護保険施設編）	3/18	1
--------------------------------	------	---

④ トーマツイノベーション

名 称 等	開催日程	人数
新入社員研修(Web研修)	4/16	1

⑤ 施設内研修

事業別の実施のため、各事業において記載。

(4) 防災関係

消防署の指導による消防訓練を下記のとおり実施した。

○ 消防訓練実績

回数	年 月 日	訓 練 内 容
1	令和2年4月27日	部分訓練、消火器取扱い訓練
2	令和2年5月27日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
3	令和2年6月24日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
4	令和2年7月29日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練
5	令和2年8月26日	部分訓練、屋内消火栓操作訓練
6	令和2年9月30日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
7	令和2年10月28日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
8	令和2年11月25日	部分訓練、宿直者に対する夜間通報訓練
9	令和2年12月23日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
10	令和3年1月27日	部分訓練、消火器取扱い訓練
11	令和3年2月24日	部分訓練、宿直者に対する夜間通報訓練
12	令和3年3月31日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）

(5) 地域交流事業

1) 地域交流委員会

地域交流事業は、地域交流委員会が活動を休止していることから、委員会主催の地域交流事業は実施しなかった。

2) こまえ苑広報委員会・広報誌の発行など

緊急事態宣言が発令され5月号を休刊し8月・11月・1月という年間の発行計画に基づき発行することができた。年間を通してのテーマであった「地域とのふれあい」という視点による記事の作成により、こまえ苑と地域とのいろいろな交流を紹介することができ、多くの方々にご理解いただけたとと思われる。各号とも、900部を発行し、こまえ苑利用者・家族、地域住民、ボランティア、関係機関等で見ていただくだけでなく、ホームページでも閲覧できるようにして情報発信を行なった。

また、ホームページの充実については、広報委員会が中心となり日々の活動・行事の紹介等を更新することにより充実したホームページになった。

3) 実習生受入れ状況

学校・施設名	年 月	人数 (1日)	日数	備考
人事院公務員研修	令和2年6月	3	5	特養
教員免許取得介護体験	令和2年9月	6	5	特養
	令和2年10月	3	5	
東京都介護支援専門員実務研修自習	令和2年10月	1	2	居宅支援
世田谷福祉専門学校	令和2年11月	2	12	特養

※上記以外にも、随時実習受け入れる場合がある。

4) ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、全てのボランティアの受け入れを中止した。

4. 総務課

(1) 総務係

重点目標や目標に掲げた内容については、今年度も新卒者を採用でき職員がより一層充実した。また、各新型コロナウイルス感染症補助金を活用し基盤整備を行い引き続き前進した。

1	目 標	法人の使命・経営の理念・ビジョン及び基本方針を理解し、これに基づいた業務基盤の整備・確立を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の設備等の更新に備え計画通り施設・設備整備等積立金を3,709万円を積立てることができた。 ② 職員個々の研修派遣計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症により各種研修が中止となった。リモート研修で参加できるものはリモートで参加した。 ③ 人材紹介会社等に頼らない人材採用活動を継続でき、今年度も新卒者を採用し正規職員の離職率は3%に抑えることができた。 ④ 公益財団法人JKA（競輪とオートレースの公益法人）に初めて車両補助申請をしたが採択されなかった。来年度も引き続き申請していく。 ⑤ ホームページは日々更新し、新型コロナウイルス感染症の対応状況等をリアルタイムに公表した。 ⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響により、TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業は申請しなかった。来年度は、全項目を申請せず人事考課を除外し申請していく。 ⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響により、特養フロア床の張替えは施工業者が多数入れないため延期した。 ⑧ 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等に伴う特別休暇取得に関する取り扱い要綱を創設し、養育しながら職務を行なう職員の処遇改善をした。また、これにともない244万円の両立支援助成金を獲得できた。 ⑨ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金・新型コロナウイルス感染症サービス継続支援補助金・新型コロナウイルス感染症対策強化補助金1,963万円を獲得し、全職員へ5万円の慰労金支給、人件費への充当や経年劣化した備品の更新を行なった。
2	目 標	効率性・費用対効果を念頭においた課題検討と改善を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 訪問介護の介護保険システム追加は、ICT補助金を東京都に申請したが不採択となった。 ② 衛生用品の納入価格を精査し経費節減につながった。 ③ 自主研修制度により、介護福祉士資格を1人が取得した。 ④ 電力供給会社を東京電力から東京ガスに変更することにより、電気料金を2割削減した。 ⑤ ホームページを魅力あるものに変更したため、求職者からの応募につながり職員の採用費用を抑えることができた。

(2) 栄養係

1	目 標	健康・栄養状態の維持、向上
	評 価	<p>① 栄養ケア・マネジメントを行うことにより、一人ひとりの摂食嚥下状態に合わせた食事内容、食事形態で提供できた。栄養スクリーニング・モニタリング表を多職種で共有し、多角的視点で改善策を見出した。</p> <p>② 16名に対して療養食を提供し、疾病の悪化進行を緩やかにした。</p> <p>③ 嚥下不良などにより通常の食事を喫食することが困難であり、それにより栄養不良を生じている利用者に対して食事を濃厚流動食や栄養補助食品等に切り替える基準を作成し、実施した。それにより、利用者の健康・栄養状態が改善した。</p>
2	目 標	食事を通して生きる喜びを感じてもらう
	評 価	<p>① 献立は旬の食材を使い、できるだけその季節が感じられるように工夫した。食材の切り方や彩りを考慮し、見た目や食感に変化を持たせるように調理した。また、行事食カードを配布する機会を増やし、食事に彩りを持たせた。</p> <p>② 新たにおやつバイキングを月1回実施した。</p>
3	目 標	衛生面・安全面の向上、適正なコスト管理、在庫管理
	評 価	<p>① 厨房内の衛生は、安全な食事を提供するうえで最も大切なことであるため、食材の搬入、検品、仕込み、調理、盛り付け、配膳が、衛生的に行われるように努めた。残菜・残食量を把握し、食材費、廃棄費用のコストの削減に努めた。</p> <p>② 非常食の見直しにより、適正な在庫を確保した。</p>
4	目 標	食事の要望や意見を取り入れ、満足度を向上させる
	評 価	<p>① 食事に関する様々な意見を聞き取り、献立や食事の提供時に反映させた。食事時には、直接利用者の様子を見たり話を聞く事により、要望に対して迅速に対応することができた。</p> <p>② 第三者評価を受審したため、食事の満足度調査は実施しなかった。</p>

1) 栄養の目標（栄養摂取基準）

利用者ごとに個別に設定した給与栄養目標量の平均値に安全率10%を考慮し、こまえ苑の給食栄養目標量とした。

以下には、令和2年度の栄養摂取基準及び栄養出納の平均量を示す。

区分	エネルギー	蛋白質	蛋白質エネルギー比率	脂質エネルギー比率	Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維
単位	kcal	g	%	%	mg	mg	μgER	mg	mg	mg	g
必要量	1,400	60.0	15~20	15~25	600	6.0	450	0.80	1.00	85	15.0
提供量	1,425	60.8	17.1	24.6	618	7.8	568	0.80	1.06	102	14.2

5. 特別養護老人ホーム（ショートステイ含む）

令和2年度は、世の中を激変させた新型コロナウイルス感染症に翻弄された年といえます。新型コロナウイルス感染症の流行により令和2年2月19日から感染予防対策を実施し、うがい・手洗い・マスク着用、入室前の体温測定などを徹底しました。流行状況の経過とともに面会制限、ボランティアの受け入れ中止、イベント縮小、職員食堂の分離、職員室のデスク及び利用者食堂各テーブルにアクリル板設置等を行ないました。

また、発熱者が出た場合の対応として、個室管理の実施、手作りビニールカーテンの設置、防護衣着脱研修の実施の他、マスク・ディスポ手袋等衛生材料高騰のため使用を極力抑えるなど、1年を通じてあらゆる対策の実施に追われる日々でした。その対策の成果で新型コロナウイルス感染症の発症はなく、併せてインフルエンザやノロウイルスの発症もありませんでした。

入退所状況としては、入所者27人、退所者27人で前年度と比べると、退所者が4人ほど増えています。新規入所までの期間は、事前の入所検討委員会で3人確保している成果もあり、短期間で入所へつながっています。しかし、80～90代の高年齢の入所が多いため、期間が短くなってきています。

ショートステイについては、軽度医療を必要とする方の受け入れや関係機関等への宣伝、キャンセル時の空床や特養の空床利用等で、稼働率アップに努めましたが、前年度の94.6%から80.7%となっています。リピーターの方や長期に利用いただいている方が入所になるケースが多くみられたためと思われます。今後も新規利用者を増やせるように努めます。

看取り介護者は、昨年18人に比べて24人と年々増える傾向にあります。また、嘱託医の24時間対応により救急搬送が激減し、何よりも家族が最後まで看取れることに大変感謝されています。夜間の介護職員のたん吸引の資格取得も4人輩出でき、徐々に増えてきています。また、業務におけるマニュアル作成と指導担当者をつけることにより、新人職員教育の流れができ、成長が見られています。

（1）重点目標

全職種共通

1	目 標	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
	評 価	① 看取り介護については継続できている。今年度は看取り介護対象者21人の看取りを行なった。個々の事案の振り返りを実施しPDCAの流れの確立ができた。 ② たんの吸引について、今年度は実務者研修修了者の実地研修という形で修了者を増やすことができた。新たに4人の職員が加わり、認定職員は16人となった。
2	目 標	職員体制の充実により、安定して質の高い介護が提供できる体制づくり
	評 価	① 職員研修について、新規採用者対象のOJTの経過は良好だった。現任職員はたんの吸引研修、OJT（在宅酸素、褥瘡、感染症対応）という形で実施した。 ② 外部研修では、初任者研修、介護職員スキルアップ研修の受講ができた。 ③ 感染症対策の研修は、年2回（10月、3月）実施できた。 ④ 外部研修参加後のフィードバックは、機会を作れず未実施だった。 ⑤ 担当が中心となり新規採用職員のケアマニュアルを完成させ、それを基に指導ができた。 ⑥ 褥瘡予防、口腔ケアの支援は行なっている。褥瘡予防は対象者のみ月

		1回、口腔ケアについては、一人当たり年2回のケア指導を行ない評価できた。
3	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 在宅で実施している医療的ケアの受け入れについて、胃ろう（2人）インシュリン注射（2人）在宅酸素療法（主に看取り介護で使用）を実施。内部研修として在宅酸素療法、褥瘡についての研修ができた。 ② 運転できる職員の配置について、シフト作成時に配慮し可能な限り配置できた。
4	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 「設備」「備品」「環境」の整備について、利用者担当を中心に定期的に実施ができています。 ② 利用者担当の役割の明確化を行ない、年度初めと終わりの課長との面談や職員同士のミーティングを行ない効率化が図れた。 ③ ICT導入に向けた取り組みは実施できていない。

ショートステイ

1	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 土曜日・祝日は小型車で送迎可能とする利用者を対象に実施（家族付き添いなし）。日曜日は家族送迎での入退苑を受け入れている。 ② 在宅酸素と胃ろう造設の利用者の受け入れができています。
2	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 本入所を目的に30日を超える利用を1人実施した。 ② 余暇活動は活発化できなかった。忘れ物は無くならないが、発見次第返却が来ているため、重篤な信用欠落はないと思われる。

医務

1	目 標	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
	評 価	① 介護職員の経験値が上がり、臨終時の変化を観察し報告することができた。 ② 家族の理解を得ながら、疑問に感じるものがあれば医師から説明するなどの対応でトラブルなく看取りを行なった。 ③ 看取り対応の方の面会については、感染防止対策を行ない家族の体調にも注意するよう指導を行なった。人数制限や時間制限などにも注意するよう指導し、感染症の発症はみられなかった。 ④ 介護職によるたん吸引については、コロナ禍において外部研修を受けることができず来年度に実施する。 ⑤ 夜間のたん吸引は、実施後の報告のしかたやたん吸引の実施も問題なくできた。
2	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 飲み忘れがあったが、すぐに対策を考え続けることはなかった。 ② 少人数ずつ研修を行ない、「褥瘡」「在宅酸素」についての知識を深めることができた。 ③ 急変時は家族の意向確認・嘱託医への報告を速やかに行えるよう、来年度も継続していく。

3	目 標	感染症対応に取り組み、感染拡大防止を強化していく
	評 価	① 3回の研修を行ない、嘔吐時や発熱時は個室に移すなど速やかに行なえた。また、新型コロナウイルス感染症予防対策についてはマニュアルを作成し、予防衣着脱・施設内のゾーニングをふまえた研修を繰り返し行なった。来年度も継続していく。 ② 感染症対応に取り組み、感染症の発生はなかった。 ③ マニュアルの見直しを行ない、研修で周知することができた。
4	目 標	職員体制の充実により、安定した質の高い介護（看護）が提供できる体制づくり
	評 価	① 業務内容の見直しができなかつたため、来年度も継続する。

(2) 年齢別内訳

令和3年3月31日現在（単位：人）

区分	男	女	計	構成比 (%)
64歳以下	0	0	0	0.0
65～69歳	2	1	3	3.8
70～74歳	3	1	4	5.0
75～79歳	2	5	7	8.8
80～84歳	6	12	18	22.5
85～89歳	7	20	27	33.8
90～94歳	0	16	16	20.0
95～99歳	0	4	4	5.0
100歳以上	0	1	1	1.3
合計	20	60	80	100.0
最高年齢	89歳	100歳		
最低年齢	67歳	68歳		
平均年齢	80.6歳	87.0歳	85.4歳	

(3) 在苑期間の状況

令和3年3月31日現在（単位：人）

区分	男	女	計	構成比 (%)
～1年未満	11	13	24	30.0
1年以上～2年未満	3	10	13	16.3
2年以上～3年未満	0	9	9	11.3
3年以上～4年未満	0	7	7	8.8
4年以上～5年未満	1	5	6	7.5
5年以上～6年未満	3	7	10	12.5
6年以上～7年未満	0	2	2	2.5
7年以上～8年未満	1	2	3	3.8
8年以上～9年未満	0	1	1	1.3
9年以上～10年未満	0	3	3	3.8
10年以上	1	1	2	2.5
合計	20	60	80	100.0

(4) 退所者の状況

令和2年度

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
			年	月	
女	98	R 2. 4. 3	15年	9ヵ月	死亡
男	94	R 2. 4. 18	5年	11ヵ月	死亡
女	82	R 2. 5. 7	0年	3ヵ月	死亡
女	97	R 2. 5. 13	6年	9ヵ月	死亡
女	93	R 2. 5. 13	6年	7ヵ月	死亡
男	90	R 2. 5. 31	3年	3ヵ月	死亡
女	95	R 2. 6. 16	13年	6ヵ月	死亡
男	88	R 2. 6. 27	0年	8ヵ月	死亡
男	83	R 2. 8. 25	4年	2ヵ月	死亡
男	80	R 2. 9. 7	0年	4ヵ月	死亡
女	88	R 2. 9. 25	13年	2ヵ月	医療機関入院
男	91	R 2. 10. 8	0年	16日	死亡
男	86	R 2. 10. 9	1年	9ヵ月	死亡
男	91	R 2. 10. 10	0年	10ヵ月	死亡
女	94	R 2. 10. 16	1年	6ヵ月	死亡
男	83	R 2. 10. 20	8年	0ヵ月	死亡
男	80	R 2. 10. 26	0年	7日	死亡
男	88	R 2. 10. 29	0年	51日	死亡
男	94	R 2. 11. 10	1年	7ヵ月	死亡
男	96	R 2. 11. 25	4年	11ヵ月	死亡
女	97	R 2. 12. 26	0年	11ヵ月	死亡
女	96	R 3. 1. 10	7年	11ヵ月	死亡
女	88	R 3. 2. 21	3年	7ヵ月	死亡
男	79	R 3. 3. 6	2年	9ヵ月	死亡
女	92	R 3. 3. 7	5年	0ヵ月	死亡
女	93	R 3. 3. 17	2年	5ヵ月	死亡
女	92	R 3. 3. 31	3年	3ヵ月	死亡

*内訳 死亡による退所
医療機関に入院
合計

26人(男14人、女12人)
1人(女1人)
27人(男14人、女13人)

(5) ADLの状況

1) 要介護度分布

令和3年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	10	8	20
女	2	0	13	24	21	60
計	2	0	15	34	29	80
構成比(%)	2.5	0.0	18.8	42.5	36.3	100.0

2) ADL (日常生活動作) の状況

区分	J	A	B	C	合計
人数	2	16	46	16	80
構成比(%)	2.5	20.0	57.6	20.0	100.0

注：分類の基準「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。
ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。
ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。
ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。

3) 認知症の程度

区分	自立	I	II	III	IV	M	合計
人数	1	3	15	35	24	2	80
構成比(%)	1.3	3.8	18.8	43.8	30.0	2.5	100.0

注：分類の基準「認知症高齢者の日常生活自立度」

I	何らかの認知障害を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(6) 利用者の日常生活

1) 行事実施状況

開催月日	行事名	内容等
3月25日(水) ～ 3月29日(日)	お花見	感染症対応により外出を断念し、ベランダから遠景の桜を見る形での開催となった。左記の日程の中で天気や気温を確認しながら実施した。
5月2日(土) 4日(月) 5日(火)	菖蒲湯	入浴日に合わせて湯船に菖蒲を浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。
7月7日(日)	七夕	各フロアに笹を準備し、願い事を書いた短冊や飾りを下げ、季節感を味わっていただいた。
9月2日(水)	敬老会	昼食に祝い膳を提供、午後から各フロアの食堂にてお祝い会。職員が懐メロを弾き語り、一緒に楽しむ時間を過ごした。
9月30日(水)	こまえ苑祭	実施時期の気温の上昇に伴いこれまでの7月開催を9月に移し実施した。午前中に神輿やサンバパレード、昼食はお重を提供。午後は各フロアでスイカ割りや輪投げ、ボウリングを実施し利用者とともに楽しむ時間を過ごした。
12月23日(水)	年忘れクリスマス会	行事食(昼食)はクリスマスメニュー。午後からはリレーや玉入れ、ジェスチャーゲームで利用者と一緒に楽しむ時間を過ごした。
1月1日(金)	初詣	ふれあいホールに模擬神社を設営し初詣を実施。昼食はおせち料理で新春のお祝いをした。
1月13日(水)	もちつき大会	各フロアでそれぞれ臼や杵を用い、年男年女の方や希望者に餅つきを実施していただいた。
2月2日(火) 2月3日(水)	豆まき	今年度は2月2日が節分にあたるため、行事食を2月2日、豆まきは時間が取れる2月3日に分けて実施した。鬼役の職員がフロアや居室をまわり、豆の代わりに新聞玉を投げ、鬼を払い福を呼び込んだ。
3月3日(水)	ひな祭り	2階、3階ごとにひな人形を飾り、職員と一緒に春にちなんだ歌を合唱した。

2) クラブ実施状況

クラブ名	活動日		活動内容
生花	第2・4金曜日	午前10時20分～11時20分	生花

3) 音楽療法

コロナ禍であり自粛している。

4) 散歩・買物・カラオケ

買い物に関しては、引き続きネットスーパーを利用し、問題なく実施できている。苑外での散歩についてはコロナ禍であり自粛している。主に日曜日にベランダでの外気浴やカラオケを実施。

5) 個別外出の実施

コロナ禍であり自粛している。

6) 理美容実施状況

①理容

- 実施日…毎月1回第4月曜日（原則）
- 費用……2,200円（散髪のみ）・1,200円（顔剃りのみ）・2,700円（セット）
- 協力……東京都理容環境衛生同業組合 武蔵調布支部（毎回3～4人）
- 月別実施人数（特養利用者）

月	人数	月	人数
4月	0	11月	14
5月	0	12月	11
6月	0	1月	14
7月	24	2月	11
8月	10	3月	13
9月	15	合計	124
10月	12	月平均	10

* 4～6月は、コロナのため中止

②美容

- 実施日…偶数月1回第3水曜日（原則）
- 費用……2,750円（カット）・8,800円（パーマ、マニキュア）
- 協力……ディチャーム株式会社（毎回3～4人）
- 月別実施人数（特養利用者）

月	人数（人）	月	人数（人）
4月	0（パーマ等0）	10月	27（パーマ等1）
5月	0（パーマ等0）	11月	28（パーマ等1）
6月	0（パーマ等0）	12月	24（パーマ等2）
7月	32（パーマ等1）	1月	26（パーマ等2）
8月	27（パーマ等1）	2月	30（パーマ等2）
9月	27（パーマ等2）	3月	22（パーマ等1）
合計	243（パーマ等13）		
平均	20.3		

* 4～6月は、コロナのため中止

(7) 家族との連携

- 1) 行事関係：納涼祭への参加（未実施）
- 2) 利用者家族懇談会への参加（未実施）

(8) 医療と看護

利用者の健康管理とともに、安全で快適な日常生活が送れるよう看護サービスの充実に努めた。

1) 入苑時健康管理

- ① 入苑後の嘱託医による診察を実施。
- ② 入苑日より3日間は、バイタルチェックを行い、利用者の健康レベルの把握を行なっている。

2) 利用者健康診断と歯科健診

- ① 年1回行っていた健康診断は、コロナ禍のため実施できなかった。
- ② 8月に狛江市歯科医師会による歯科健診が実施された。また、歯科医師往診に

より通院が困難な利用者の歯科治療を行なっている。

3) 感染症に対する取り組み

感染症に対しては、手洗い・うがいの徹底を基本としている。

《新型コロナウイルス感染症》

① 面会は中止（看取り対象のご家族のみ可）・特養関係者全員の検温・マスクの着用・手指消毒・アンケートの実施・特養関係職員の唾液PCR検査を行ない、感染を防止することができた。

② 情報を取り入れ、産業医・嘱託医と相談しながらマニュアルを作成し、研修の中で周知徹底した。

《ノロウイルス及び感染性胃腸炎・疥癬》

① 今年度は、感染性胃腸炎の発症はみられなかった。

② 疥癬の感染者はいなかった。

*インフルエンザについては、新型コロナウイルス感染症のおそれがあり検査を実施することができなかった。

4) 肺炎球菌ワクチンの接種について

① 今年度は2人が肺炎球菌ワクチン接種を受けた。

5) 嘱託医による施設内の診察状況（別表参照）

6) 他の医療機関による診療状況（別表参照）

8) 入院医療機関の利用状況

（単位：人）

病院名	延人員	
慈恵医科大学付属第三病院	4	
日産厚生会玉川病院	11	
武蔵野赤十字病院	1	
関東中央病院	1	
北多摩病院	1	
東京警察病院	1	
多摩総合医療センター	1	
世田谷記念病院	1	
青木病院		(1)
合計	21	(1)

9) 入退院の状況

（単位：人）

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上	合計
入院者実数	18	2	0	1	21

(9) リハビリテーションとマッサージ

1) 機能訓練、嚥下マッサージについて

月曜日から金曜日まで、機能訓練指導員において、マッサージ及び可動域訓練などの機能訓練を行なっている。また、昼食前に誤嚥予防の観点から嚥下マッサージを実施している。

2) リハビリテーションについて

機能訓練指導員が、作業療法士（OT）から引き継ぐ形で個別リハビリを行なっている。なお、集団体操は、機能訓練指導員との連携のうえ水曜日にリハビリ担当

が中心になり実施し、より多くの利用者にはリハビリの機会を設けている。

3) 個別機能訓練実施計画書について

3カ月に1回の評価を行ない、個々のニーズに則した計画を作成している。変化に即した計画の変更を実施している。

<リハビリ・マッサージ実施延人数>

令和2年度（単位：人）

月	集団体操 (2階)	集団体操 (3階)	ショート ステイ	個別リハ	機能訓練	嚥下
4月		31	3	39	286	21
5月		41	3	30	257	18
6月				31	330	21
7月				41	314	36
8月		6		32	256	36
9月		36	1	33	291	40
10月		28	3	34	308	44
11月		49	6	28	268	34
12月				33	277	38
1月		23		35	264	36
2月		7		28	269	36
3月		39	2	37	316	44
総計	0	260	18	401	3,436	404

嘱託医による施設内の診察状況(令和2年度)

(単位:人)

区分 月	内科		精神科		整形外科		皮膚科		歯科往診		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	98	201	10	10	2	5	9	9	0	0	119	225
5月	80	138	11	11	1	1	10	10	0	0	102	160
6月	90	190	12	12	0	0	12	12	7	8	121	222
7月	90	167	13	23	0	0	12	12	8	11	123	213
8月	84	143	10	10	2	2	10	10	2	4	108	169
9月	88	169	9	9	1	3	10	10	2	2	110	193
10月	89	186	8	8	2	2	6	6	0	0	105	202
11月	86	131	9	9	2	2	10	10	0	0	107	152
12月	90	170	9	9	2	3	7	7	0	0	108	189
1月	87	164	9	9	2	2	6	6	0	0	104	181
2月	81	120	10	10	1	1	6	6	0	0	98	137
3月	87	168	10	30	1	1	9	9	0	0	107	208
合計	1,050	1,947	120	150	16	22	107	107	19	25	1,312	2,251

他の医療機関による診療状況(令和2年度)

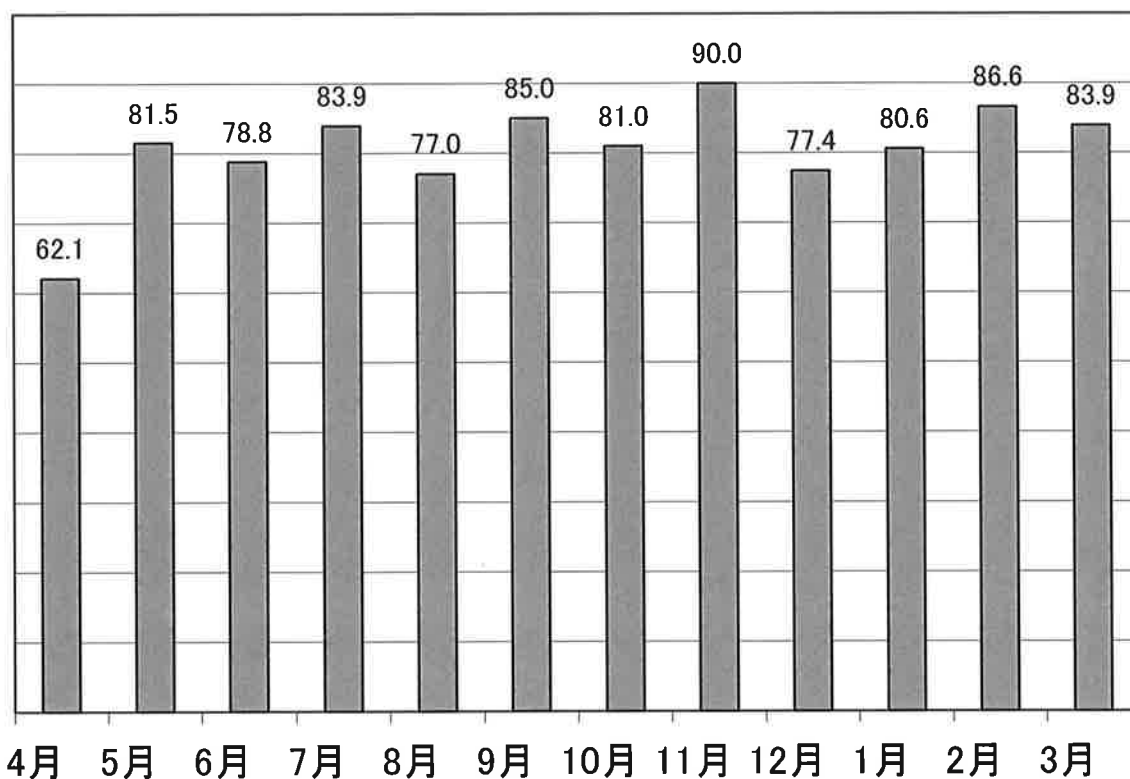
(単位:人)

区分 月	内科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		婦人科		泌尿器科		精神科		眼科		歯科		合計		救急車による搬送			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	1	1	0	0	2	5	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3	0	0	6	11	1	1		
5月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	5	5	3	3		
6月	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5	5	1	1		
7月	3	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0		
8月	4	4	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	11	11	1	1		
9月	2	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	2	2	7	10	1	1		
10月	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	1	1		
11月	2	2	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0		
12月	5	5	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	1	1		
1月	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	5	0	0		
2月	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6	7	0	0		
3月	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	7	1	1		
合計	28	28	3	3	16	22	3	3	3	3	4	4	4	5	3	3	2	2	3	5	5	6	74	84	10	10		

ショートステイ 利用定員8人

区分 月	実利用者数(人)			延利用者日数(日)			実施日数 (日)	1日平均 利用者数(人)	摘要
	男	女	計	男	女	計			
4月	7	18	25	50	99	149	30	5.0	
5月	9	16	25	71	131	202	31	6.5	
6月	10	21	31	61	128	189	30	6.3	
7月	9	21	30	80	128	208	31	6.7	
8月	8	19	27	55	136	191	31	6.2	
9月	8	18	26	66	138	204	30	6.8	
10月	7	20	27	69	132	201	31	6.5	
11月	8	20	28	60	156	216	30	7.2	
12月	8	19	27	53	139	192	31	6.2	
1月	9	20	29	62	139	201	31	6.5	
2月	5	18	23	44	150	194	28	6.9	
3月	6	18	24	52	156	208	31	6.7	
合計	94	228	322	723	1,632	2,355	365	6.5	
前年度比%	85.5	82.6	83.4	94.9	81.3	85.0	99.7	100.0	
31年度計	110	276	386	762	2,007	2,769	366	6.5	
30年度計	72	267	339	616	1,909	2,525	365	6.9	
29年度計	78	237	315	660	1,761	2,421	365	6.6	

ショートステイ稼働率(特養空きベッド利用含む)(%)



6. 高齢者デイサービスセンター

日常生活支援総合事業、通所介護、認知症対応型通所介護の三事業とも、新型コロナウイルス感染症予防による利用自粛などの影響が大きく、稼働率は大きく前年を下回りました。マスク着用の促し、アクリル板の設置、活動物品の消毒、席の間隔を空ける等の感染症予防対策を実施する中での支援提供となりました。

制限ある中での活動でしたが、通所介護の利用者が認知症対応型通所介護のフロアへ積極的に足を運ばれ、食後のひと時を過ごすなど、充実された時間を過ごすことができました。職員による行事も新鮮であり、職員自身も成長した年度となりました。

来年度も重度認知症のある方の受け入れを行ないながら、地域ニーズの窓口としての働きを継続していきます。

1	目 標	サービス内容の充実を図る																								
	評 価	<p>① 入浴サービスの年間延べ人数では、前年度 2,510 人に対して今年度 2,381 人であった。感染予防での欠席が影響している。</p> <p>② 講師ボランティアによる活動は中止とし、職員が趣向を凝らし活動を実施した。看護職員も活動へ入り職員数の増員を図った。その結果、利用者とのかわりを密に行なうことができている。</p> <p>③ 日々の昼食前の口腔体操を継続実施できた。</p>																								
2	目 標	職員の働きがいのある職場を目指す																								
	評 価	<p>① 職員会議の司会・記録を輪番制にし、スキル習得に努めた。しかしながら緊急事態宣言発令もあり会議の中止を余儀なくされた。</p> <p>② 外部研修ができない状況であったため、オンライン研修を実施した。</p> <p>③ 制度改正や通所介護事業所としての方向性、地域において求められる役割など、職員会議（書面等）において確認できる機会を設けた。</p>																								
3	目 標	収入の確保																								
	評 価	<p>① 新規利用調整に関しては、見学調整から利用開始に係る期間を、利用者の都合を考慮しながら短縮することができている。毎月居宅支援事業所を訪問していたが、コロナ禍であるため、訪問確認を行ないながら実施した。</p> <p>② 利用者数の数値目標（稼働率）に関しては、目標値達成できなかったが、努力惜しまず調整に励んだ。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>日平均利用数</th> <th>利用開始数</th> <th>利用終了数</th> <th>延べ欠席数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><基本></td> <td>21.6 人</td> <td>29 人</td> <td>41 人</td> <td>1,978 人</td> </tr> <tr> <td><総合事業></td> <td>4.6 人</td> <td>8 人</td> <td>8 人</td> <td>201 人</td> </tr> <tr> <td><基本+総合事業></td> <td>26.2 人</td> <td>37 人</td> <td>49 人</td> <td>2,179 人</td> </tr> <tr> <td><認知症対応型></td> <td>5.0 人</td> <td>9 人</td> <td>6 人</td> <td>773 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 「ADL維持等加算」取得に関しては、算定要件に当てはまらず加算取得不可となった。</p>	事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数	<基本>	21.6 人	29 人	41 人	1,978 人	<総合事業>	4.6 人	8 人	8 人	201 人	<基本+総合事業>	26.2 人	37 人	49 人	2,179 人	<認知症対応型>	5.0 人	9 人	6 人
事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数																						
<基本>	21.6 人	29 人	41 人	1,978 人																						
<総合事業>	4.6 人	8 人	8 人	201 人																						
<基本+総合事業>	26.2 人	37 人	49 人	2,179 人																						
<認知症対応型>	5.0 人	9 人	6 人	773 人																						

(1) 事業活動状況

1) 通所介護、総合事業での活動

<活動メニュー>

体操・カラオケ・書道・頭の体操・テーブルゲーム・歌の会・手工芸・壁面装飾・レクリエーションゲーム

<評価と課題>

活動の種類は大きく二つに分け、身体全体や手先を動かすものと、頭を使うク

イズ形式などのものを取り入れ、個人の趣向やその日の体調を見ながら計画・実施している。ADLの低下や認知症などで意思表示が難しい場合は、家族の意向を聞き取りつつ、その方にとってより良い活動への参加を促した。新型コロナウイルス感染症予防対策により各種活動物品の消毒等を行い、ソーシャルディスタンスを保った配席での活動の実施とした。

また、外部ボランティア講師による活動も中止となったため、活動内容の変更や講師なしでの実施等の対応を図りつつ、利用者の満足度を落とさぬ工夫を行ない、手工芸等の創作活動においては、季節に応じた壁面装飾や持ち帰り作品の活動を増やし、よりバラエティーに富んだ活動の提供に努めた。

2) 認知症対応型通所介護での活動

認知症特有の症状がある高齢者を対象に、明るくゆったりとした環境をつくり、情緒の安定と心身機能の維持・向上を目的とした援助に努めた。平行棒を取り入れた機能訓練を実施した。

<評価と課題>

明るくゆったりと落ち着いて過ごしていただき、お互いの顔が見え、会話ができる室内環境へ整備した。その結果利用者間のコミュニケーションの時間が増え、会話も多く聞かれるようになった。また、手作業も多く取り入れ、集中して行なう時間が増えている。

3) 入浴

利用者の健康状態に合わせ、特殊浴槽・一般浴槽での柔軟な対応を行なっている。利用回数に関わらず希望される利用者に週2回の入浴日を設け、入浴を実施している。また、入浴サービス開始時及び1年ごとに、主治医からの身体状況に関する情報を提出していただき、健康チェック・感染症予防や急変防止に努めた。

<評価と課題>

平成31年度より1日10人の定員設定から15人の定員設定に変更し、入浴希望のある方の受け入れも多くなるようになった。ただし、特定の曜日に人数が集中している状況があり、待機者リストに登録し待機していただき対応している。

4) 食事

食事形態の変更や自助食器の提供などの個別対応を行ない、ソフト食も含め身体状況に合わせた特殊調理を施した食事の提供も行なっている。誕生会のある週には、特別感のあるケーキ、行事ではテーマに合わせた食事やおやつを提供している。

また、季節ごとに旬の食材を使った食事の提供も行っているほか、赤飯・おこわ・日本各地の郷土料理をそれぞれ提供した。

<評価と課題>

多くの利用者には好評であるが、利用者の嗜好による細かな要望についてどこまで対応できるのか、管理栄養士とも相談しながら対応している。

5) 健康チェック・機能減退防止・健康増進

利用者の高齢化や、独居又は高齢者のみ世帯の利用者が増えている。それに伴い医療行為を必要とする利用者も多くなってきている。自己管理が難しい利用者の薬を預かる等、服薬支援を行なっている。血糖値測定、インスリン自己注射、人工肛門等、専門職としてのアドバイスを利用者や家族に行なっている。MCSによる情報共有は、利用者の状態把握とタイムリーな連携に大変役立っている。

<評価と課題>

利用者の情報収集を行なうとともに、バイタル測定や利用者の状態観察を行ない、健康管理に留意している。利用者家族、関係職種・事業所等との連絡を行な

い、利用中の健康状態や異常の早期発見に努めている。訪問医を導入する利用者が増え、在宅での看取りを希望する家族も増えていくと思われるため、デイサービスでの受け入れ体制を整えていく必要がある。

体重計（一般用、車椅子用）は開設当初に購入したものを使用しているが、経年劣化が認められるため、更新していく必要がある。

6) 送迎

デイサービス及び一部のショートステイの利用者に自宅までの送迎を実施している。利用者の状況に応じて時間やルート細かい変更や介助方法の調整など、可能な限り個別ニーズに沿ったサービスを提供している。

一方で、利用者各戸の状況には、急な階段や狭い場所での段差などさまざまな厳しい環境もある。利用者職員双方の安全確保を第一に、ご家族や関係事業所と相談しながら対応している。

<評価と課題>

狛江市の北側エリアに居住している方や、送迎時間に指定のある方などが増えているが、できる限り対応を行ない効率的な運行経路をとっている。ワゴン車両を運転できる職員が限られており、また職員体制もかなり厳しい状況であることから、総務係の協力も得て実施している。

7) デイサービスでの1日

- 9:00 ～ 利用者到着・健康チェック・水分補給
- 10:30 ～ 朝の会・活動
- 12:15 ～ 昼食
- 13:00 ～ コーヒータイム・談話
- 14:00 ～ 活動
- 15:15 ～ おやつ・水分補給
- 16:10 ～ 1便出発・第三活動

(2) 講師によるクラブ活動

新型コロナウイルス感染症予防対策として講師によるクラブ活動は中止とした。

1) 音楽療法 書道 脳いきいきアート

<評価と課題>

音楽療法、脳いきいきアート・・・手工芸やカレンダー作成、歌の会等で職員が趣向を凝らし提供した結果、利用者からの評価も良好であった。書道に関しては、新しいお手本がないためあるものを活用した。今後インターネット等利用し、お手本の作成を行っていくこととする。

行事実施状況

	行事名	内 容
7月	納涼祭	新型コロナウイルス感染症予防の関係により、演芸ボランティアを呼ばず感染対策を行ない実施した。午前中に体操を行ない、昼休みに職員が利用者の自席を回りくじ引きなどの縁日的余興を行なった。午後は職員主催によるスイカ割り大会を行なった。 昼食は松花堂弁当を提供した。飲み物は、りんごジュース、オレンジジュース、冷たいお茶、ノンアルコールビールを提供し、利用者に好きな飲み物を選んでもらった。
9月	敬老会	2日間で実施。新型コロナウイルス感染症予防のため、7月と同様に演芸ボランティアを呼ばず「職員によるお祝の言葉映像」・「写真で見る昭和

		の狛江（図書館ホームページ使用）」のスライド観賞を行なった。 昼食は敬老祝い膳、納涼祭に続きジュース等の飲み物を提供した。今年のお祝い品は「マルチライト」をお贈りした。
1月	新年会	2日間で実施。新型コロナウイルス感染予防のため、7月・9月と同様に演芸ボランティアを呼ばず、職員による余興とゲームを実施した。①獅子舞に仮装し登場。八木節の音楽をかけ2分くらい余興を行なった。②職員より新年の挨拶。お正月にちなんだすごろくゲームを実施した。 昼食は、赤飯、天ぷら、お刺身、おせち盛り合わせなど新年にふさわしいものを提供した。

<評価と課題>

どの行事も、演芸ボランティアの力を借りず、職員主催の企画を考案し大変好評をいただいた。食事も普段と違う豪華なものが出ることで、とても楽しみにされている方も多く見られた。しばらくは演芸ボランティアの参加は期待できないため、職員が創意工夫し行なっていく。

(3) 家族懇談会

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	開催中止 (開催予定日6月15日)	開催中止 (開催予定日11月23日)
参加家族数	0名	0名
開催予定内容	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ

<評価と課題>

令和2年度の家族懇談会は、両日共に新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり、中止となった。例年は、年2回開催し、家族よりいろいろなご意見をいただき、家族同士の意見交換の場として有意義な交流の場所であった。

令和3年度は再開を目指して検討していきたい。家族からも開催の要望がでてくることも踏まえ、感染予防対策を徹底して検討していく。

(4) 運営推進会議（認知症対応型通所介護）

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日 (郵送)	令和2年9月11日(金) 郵送にて開催	令和3年3月11日(水) 郵送にて開催
出席者	利用者、家族、地域の代表者、当サービス知見者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所代表者、事業所管理者	
主な内容	①サービス提供内容について ②利用者数等の事業実績について ③その他意見交換	

<評価と課題>

令和2年度の運営推進会議は、両日ともに新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり、中止となった。今年度は前回会議録、主な行事、事業報告を書面にて郵送とした。年間通し2回「運営推進会議」を開催する。地域とどのように密着した関わりを深めていくか出席者で意見交換を行なうものであるが、会議を重ねていくなかで、地域との関わりが多く持てるよう意見交換を行なっていきたい。

サービス実績報告(通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス)

利用率目標値:750人以下/月 (1日29人)

利用定員:1日35人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	6	9	9	24	6	6	9	23	47
要介護1	182	192	200	574	216	197	218	631	1,205
要介護2	166	177	200	543	219	203	215	637	1,180
要介護3	38	42	48	128	46	58	55	159	287
要介護4	79	62	64	205	59	54	60	173	378
要介護5	56	69	81	206	70	70	61	201	407
合計	527	551	602	1,680	616	591	617	1,824	3,504
稼働日数	26	26	26	78	27	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	910	910	910	2,730	945	910	910	2,765	5,495
利用率	57.9%	60.5%	66.2%	61.5%	65.2%	64.9%	67.8%	66.0%	63.8%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	9	8	8	25	8	8	9	25	50	97
要介護1	231	193	181	605	165	194	212	571	1,176	2,381
要介護2	207	195	184	586	155	154	181	490	1,076	2,256
要介護3	67	36	39	142	42	44	61	147	289	576
要介護4	67	71	63	201	51	66	69	186	387	765
要介護5	63	44	41	148	40	41	47	128	276	683
合計	644	547	516	1,707	461	507	579	1,547	3,254	6,758
稼働日数	27	25	24	76	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	945	875	840	2,660	840	840	945	2,625	5,285	10,780
利用率	68.1%	62.5%	61.4%	64.2%	54.9%	60.4%	61.3%	58.9%	61.6%	62.7%

デイサービス実績報告(総合事業・市基準通所型サービスA)

利用率目標値:750人以下/月(1日5人)

利用定員:1日5人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	28	36	35	99	36	40	39	115	214
要支援1	0	0	4	4	7	15	14	36	40
要支援2	59	50	63	172	70	67	68	205	377
合計	87	86	102	275	113	122	121	356	631
稼働日数	26	26	26	78	27	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	130	130	130	390	135	130	130	395	785
利用率	66.9%	66.2%	78.5%	70.5%	83.7%	93.8%	93.1%	90.1%	80.4%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	42	25	32	99	27	31	35	93	192	406
要支援1	9	5	4	18	4	4	5	13	31	71
要支援2	62	47	54	163	39	50	60	149	312	689
合計	113	77	90	280	70	85	100	255	535	1,166
稼働日数	27	25	24	76	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	135	125	120	380	120	120	135	375	755	1,540
利用率	83.7%	61.6%	75.0%	73.7%	58.3%	70.8%	74.1%	68.0%	70.9%	75.7%

デイサービス実績報告(認知症対応型)

利用率目標値:1日平均8人以上

利用定員:1日10人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	4	4	5	4	9	18	22
要介護 2	14	11	15	40	18	14	16	48	88
要介護 3	55	63	70	188	69	70	68	207	395
要介護 4	14	10	3	27	6	5	6	17	44
要介護 5	38	45	37	120	38	35	35	108	228
合計	121	129	129	379	136	128	134	398	777
稼働日数	26	26	26	78	27	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	260	260	260	780	270	260	260	790	1,570
利用率	46.5%	49.6%	49.6%	48.6%	50.4%	49.2%	51.5%	50.4%	49.5%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	13	12	12	37	11	12	18	41	78	100
要介護 2	17	17	15	49	10	12	28	50	99	187
要介護 3	67	77	70	214	67	64	65	196	410	805
要介護 4	15	10	6	31	4	7	17	28	59	103
要介護 5	33	20	20	73	16	20	21	57	130	358
合計	145	136	123	404	108	115	149	372	776	1,553
稼働日数	27	25	24	76	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	270	250	240	760	240	240	270	750	1,510	3,080
利用率	53.7%	54.4%	51.3%	53.2%	45.0%	47.9%	55.2%	49.6%	51.4%	50.4%

通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス利用者状況

令和3年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
4月	0	0	0	0	0	6	6	54	128	182	40	126	166	28	51	79	29	27	56	167	360	527
5月	0	0	0	0	0	9	9	54	138	192	39	138	177	27	35	62	26	41	69	161	390	551
6月	0	0	0	0	0	9	9	54	146	200	50	150	200	23	41	64	26	53	81	172	430	602
7月	0	0	0	0	0	6	6	60	156	216	59	160	219	13	46	59	25	45	70	173	443	616
8月	0	0	0	0	0	9	9	72	125	197	55	148	203	11	43	54	21	49	70	175	416	591
9月	0	0	0	0	0	8	8	81	137	218	58	157	215	12	43	55	13	46	61	179	438	617
10月	0	0	0	0	0	9	9	89	142	231	56	151	207	9	58	67	14	20	63	188	456	644
11月	0	0	0	0	0	8	8	70	123	193	54	141	195	8	28	36	29	42	71	177	370	547
12月	0	0	0	0	0	8	8	70	111	181	51	133	184	8	31	39	23	40	63	166	350	516
1月	0	0	0	0	0	8	8	69	96	165	44	111	155	4	38	42	11	14	40	142	319	461
2月	0	0	0	0	0	8	8	74	120	194	42	112	154	8	36	44	8	14	41	146	361	507
3月	0	0	0	0	0	9	9	93	119	212	61	120	181	5	56	61	11	17	30	187	392	579
合計	0	0	0	0	0	97	97	840	1,541	2,381	609	1,647	2,256	132	444	576	211	442	683	2,033	4,725	6,758

支援・介護度分布状況

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	34.5	34.5	31.5	31.5	7.2	7.2	15.0	15.0	10.6	10.6	100.0	100.0
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	34.8	34.8	32.1	32.1	7.6	7.6	11.3	11.3	12.5	12.5	100.0	100.0
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	33.2	33.2	33.2	33.2	8.0	8.0	10.6	10.6	13.5	13.5	100.0	100.0
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	35.1	35.1	35.6	35.6	7.5	7.5	9.6	9.6	11.4	11.4	100.0	100.0
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	33.3	33.3	34.3	34.3	9.8	9.8	9.1	9.1	11.8	11.8	100.0	100.0
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	35.3	35.3	34.8	34.8	8.9	8.9	9.7	9.7	9.9	9.9	100.0	100.0
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	35.9	35.9	32.1	32.1	10.4	10.4	10.4	10.4	9.8	9.8	100.0	100.0
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	35.3	35.3	35.6	35.6	6.6	6.6	13.0	13.0	8.0	8.0	100.0	100.0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	35.1	35.1	35.7	35.7	7.6	7.6	12.2	12.2	7.9	7.9	100.0	100.0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	35.8	35.8	33.6	33.6	9.1	9.1	11.1	11.1	8.7	8.7	100.0	100.0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	38.3	38.3	30.4	30.4	8.7	8.7	13.0	13.0	8.1	8.1	100.0	100.0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	36.6	36.6	31.3	31.3	10.5	10.5	11.9	11.9	8.1	8.1	100.0	100.0
平均	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	35.3	35.3	33.4	33.4	8.5	8.5	11.4	11.4	10.0	10.0	100.0	100.0

(単位:%)

総合事業・市基準通所型A 利用者状況 令和3年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援 1		要支援 2		合 計					
	男	女	計	男	女	計	男	女				
4月	2	26	28	0	0	0	7	52	59	9	78	87
5月	4	32	36	0	0	0	7	43	50	11	75	86
6月	5	30	35	0	4	4	8	55	63	13	89	102
7月	4	32	36	0	7	7	9	61	70	13	100	113
8月	5	35	40	0	15	15	9	58	67	14	108	122
9月	4	35	39	0	14	14	9	59	68	13	108	121
10月	4	38	42	0	9	9	9	53	62	13	100	113
11月	4	21	25	0	5	5	4	43	47	8	69	77
12月	4	28	32	0	4	4	8	46	54	12	78	90
1月	2	25	27	0	4	4	6	33	39	8	62	70
2月	4	27	31	0	4	4	8	42	50	12	73	85
3月	5	30	35	0	5	5	7	53	60	12	88	100
合 計	47	359	406	0	71	71	91	598	689	138	1,028	1,166

支援・介護度分布状況

(単位:%)

区分 月	事業対象者		要支援 1	要支援 2	合 計
	事業対象者	要支援 1	要支援 2	合 計	
4月	32.2	0.0	67.8	100.0	
5月	41.9	0.0	58.1	100.0	
6月	34.3	3.9	61.8	100.0	
7月	31.9	6.2	61.9	100.0	
8月	32.8	12.3	54.9	100.0	
9月	32.2	11.6	56.2	100.0	
10月	37.2	8.0	54.9	100.0	
11月	32.5	6.5	61.0	100.0	
12月	35.6	4.4	60.0	100.0	
1月	38.6	5.7	55.7	100.0	
2月	36.5	4.7	58.8	100.0	
3月	35.0	5.0	60.0	100.0	
平均	34.7	7.2	58.2	100.0	

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和3年3月31日現在

月	要支援1・2		要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
4月	0	0	0	0	13	1	14	9	46	55	5	9	14	0	38	27	94	121
5月	0	0	0	0	11	0	11	8	55	63	0	10	10	0	45	19	110	129
6月	0	0	0	4	12	3	15	12	58	70	0	3	3	0	37	24	105	129
7月	0	0	0	5	14	4	18	8	61	69	0	6	6	0	38	22	114	136
8月	0	0	0	4	12	2	14	10	60	70	1	4	5	0	35	23	105	128
9月	0	0	5	4	12	4	16	7	61	68	1	5	6	0	35	25	109	134
10月	0	0	4	9	13	4	17	0	67	67	10	5	15	0	33	27	118	145
11月	0	0	4	8	13	4	17	4	73	77	10	0	10	0	20	31	105	136
12月	0	0	4	8	12	3	15	4	66	70	3	3	6	0	20	23	100	123
1月	0	0	0	11	10	0	10	3	64	67	0	4	4	0	16	13	95	108
2月	0	0	0	12	12	0	12	4	60	64	2	5	7	0	20	18	97	115
3月	0	0	5	13	14	14	28	4	61	65	13	4	17	0	21	36	113	149
合計	0	0	22	78	100	39	187	73	732	805	45	58	103	0	358	288	1,265	1,553

(単位:%)

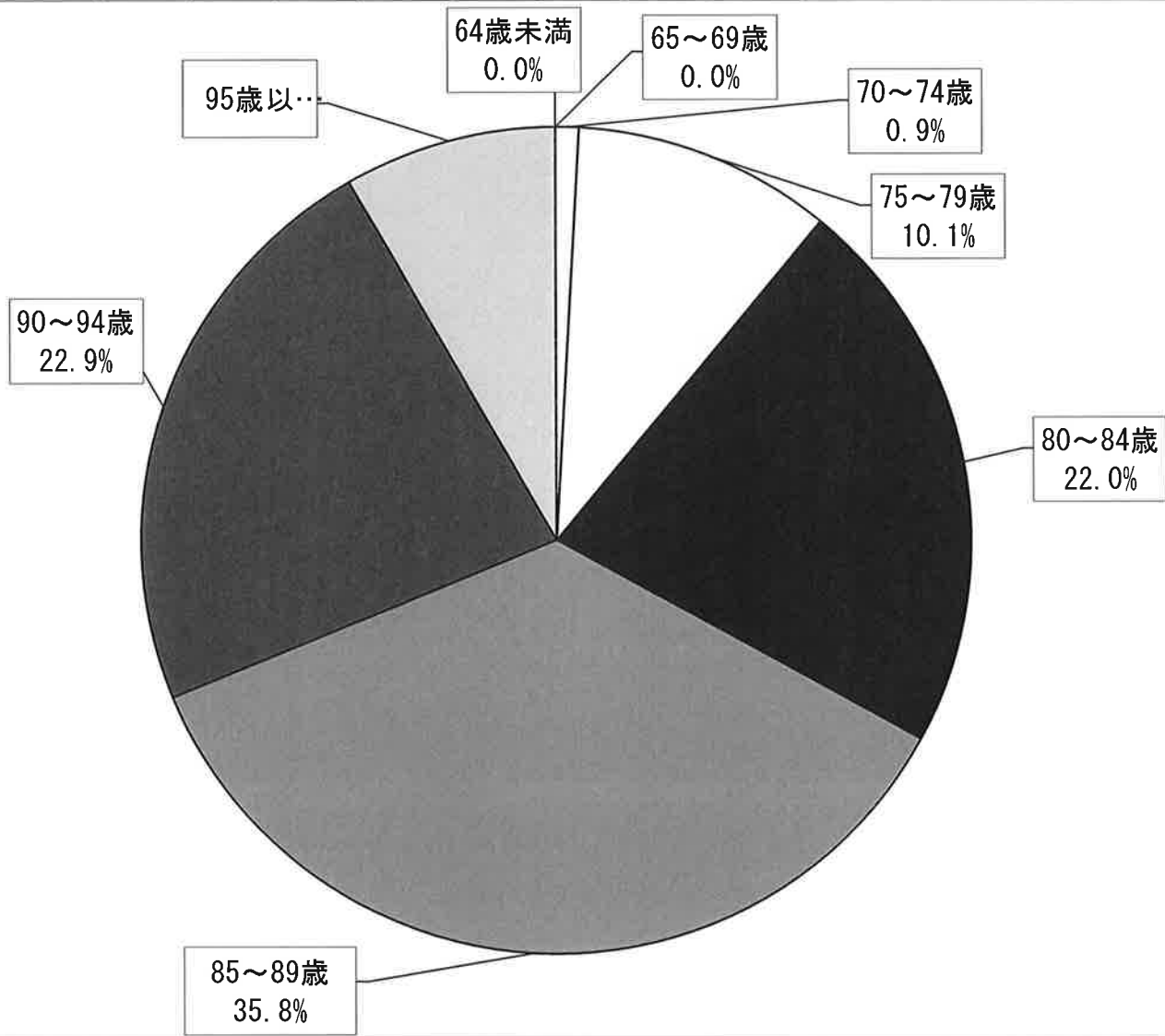
支援・介護度分布状況

月	要支援1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	11.6	45.5	45.5	11.6	11.6	31.4	31.4	100.0	100.0
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	8.5	48.8	48.8	7.8	7.8	34.9	34.9	100.0	100.0
6月	0.0	0.0	3.1	3.1	11.6	11.6	54.3	54.3	2.3	2.3	28.7	28.7	100.0	100.0
7月	0.0	0.0	3.7	3.7	13.2	13.2	50.7	50.7	4.4	4.4	27.9	27.9	100.0	100.0
8月	0.0	0.0	3.1	3.1	10.9	10.9	54.7	54.7	3.9	3.9	27.3	27.3	100.0	100.0
9月	0.0	0.0	6.7	6.7	11.9	11.9	50.7	50.7	4.5	4.5	26.1	26.1	100.0	100.0
10月	0.0	0.0	9.0	9.0	11.7	11.7	46.2	46.2	10.3	10.3	22.8	22.8	100.0	100.0
11月	0.0	0.0	8.8	8.8	12.5	12.5	56.6	56.6	7.4	7.4	14.7	14.7	100.0	100.0
12月	0.0	0.0	9.8	9.8	12.2	12.2	56.9	56.9	4.9	4.9	16.3	16.3	100.0	100.0
1月	0.0	0.0	10.2	10.2	9.3	9.3	62.0	62.0	3.7	3.7	14.8	14.8	100.0	100.0
2月	0.0	0.0	10.4	10.4	10.4	10.4	55.7	55.7	6.1	6.1	17.4	17.4	100.0	100.0
3月	0.0	0.0	12.1	12.1	18.8	18.8	43.6	43.6	11.4	11.4	14.1	14.1	100.0	100.0
平均	0.0	0.0	6.4	6.4	11.9	11.9	52.1	52.1	6.5	6.5	23.0	23.0	100.0	100.0

利用者の年齢構成

令和3年3月31日現在

事業 年齢	通所介護			総合事業			認知症対応型 通所介護			合計			構成比
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	%
64歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
70～74歳	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0.9
75～79歳	4	2	6	0	2	2	2	1	3	6	5	11	10.1
80～84歳	8	11	19	2	0	2	0	3	3	10	14	24	22.0
85～89歳	2	22	24	0	6	6	3	6	9	5	34	39	35.8
90～94歳	3	14	17	0	6	6	0	2	2	3	22	25	22.9
95歳以上	3	4	7	0	0	0	0	2	2	3	6	9	8.3
合計	20	53	73	2	15	17	5	14	19	27	82	109	100.0



区分 月	実利用者数(人)						延利用者数(人)						実施日数 (日)	1日平均 利用者数 (人)	摘 要	
	一般入浴			機械入浴			一般入浴			機械入浴						延利用者 合計(人)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
	8	22	30	6	12	18	35	78	113	21	45	66				
4月	8	22	30	6	12	18	35	78	113	21	45	66	179	26	6.9	
5月	8	24	32	5	15	20	35	91	126	18	55	73	199	26	7.7	
6月	9	25	34	6	16	22	35	100	135	14	64	78	213	26	8.2	
7月	9	26	35	4	12	16	38	111	149	15	57	72	221	27	8.2	
8月	9	25	34	5	14	19	37	105	142	14	62	76	218	26	8.4	
9月	10	23	33	5	13	18	39	99	138	11	58	69	207	26	8.0	
10月	10	24	34	5	12	17	44	107	151	15	55	70	221	27	8.2	
11月	10	23	33	4	9	13	38	92	130	13	41	54	184	25	7.4	
12月	10	20	30	5	11	16	37	95	132	14	42	56	188	24	7.8	
1月	9	20	29	3	12	15	39	89	128	14	47	61	189	24	7.9	
2月	9	20	29	5	14	19	46	99	145	13	57	70	215	24	9.0	
3月	11	21	32	3	13	16	61	114	175	14	68	82	257	27	9.5	
合 計	112	273	385	56	153	209	484	1,180	1,664	176	651	827	2,491	308	8.1	

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
4月	月	71	50.7	6	30.0	23	57.5	94	52.2
	火	92	65.7	19	95.0	18	45.0	110	61.1
	水	98	56.0	14	56.0	25	50.0	123	54.7
	木	98	56.0	14	56.0	18	36.0	116	51.6
	金	83	59.3	15	75.0	16	40.0	99	55.0
	土	85	60.7	19	95.0	21	52.5	106	58.9
5月	月	78	55.7	8	40.0	22	55.0	100	55.6
	火	96	68.6	17	85.0	15	37.5	111	61.7
	水	78	55.7	11	55.0	21	52.5	99	55.0
	木	79	56.4	8	40.0	17	42.5	96	53.3
	金	104	59.4	18	72.0	22	44.0	126	56.0
	土	116	66.3	24	96.0	32	64.0	148	65.8
6月	月	103	58.9	19	76.0	24	48.0	127	56.4
	火	138	78.9	19	76.0	23	46.0	161	71.6
	水	83	59.3	19	95.0	22	55.0	105	58.3
	木	89	63.6	8	40.0	24	60.0	113	62.8
	金	88	62.9	21	105.0	18	45.0	106	58.9
	土	101	72.1	16	80.0	18	45.0	119	66.1
7月	月	80	57.1	18	90.0	18	45.0	116	58.0
	火	100	71.4	15	75.0	16	40.0	131	65.5
	水	111	63.4	25	100.0	27	54.0	163	65.2
	木	122	69.7	11	44.0	27	54.0	160	64.0
	金	114	65.1	24	96.0	27	54.0	165	66.0
	土	89	63.6	20	100.0	21	52.5	130	65.0
8月	月	101	57.7	27	108.0	23	46.0	151	60.4
	火	101	72.1	19	95.0	17	42.5	137	68.5
	水	81	57.9	19	95.0	19	47.5	119	59.5
	木	88	62.9	12	60.0	21	52.5	121	60.5
	金	103	73.6	20	100.0	24	60.0	147	73.5
	土	117	66.9	25	100.0	24	48.0	166	66.4
9月	月	90	64.3	20	100.0	18	45.0	128	64.0
	火	129	73.7	24	96.0	25	50.0	178	71.2
	水	109	62.3	25	100.0	27	54.0	161	64.4
	木	88	62.9	12	60.0	19	47.5	119	59.5
	金	104	74.3	20	100.0	25	62.5	149	74.5
	土	97	69.3	20	100.0	20	50.0	137	68.5
10月	月	88	62.9	19	95.0	19	47.5	126	63.0
	火	102	72.9	18	90.0	24	60.0	144	72.0
	水	98	70.0	18	90.0	22	55.0	138	69.0
	木	113	64.6	11	44.0	24	48.0	148	59.2
	金	125	71.4	23	92.0	32	64.0	180	72.0
	土	118	67.4	24	96.0	24	48.0	166	66.4

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
11月	月	106	60.6	18	72.0	25	50.0	149	59.6
	火	92	65.7	13	65.0	29	72.5	134	67.0
	水	81	57.9	7	35.0	19	47.5	107	53.5
	木	86	61.4	11	55.0	19	47.5	116	58.0
	金	97	69.3	16	80.0	22	55.0	135	67.5
	土	85	60.7	12	60.0	22	55.0	119	59.5
12月	月	90	64.3	15	75.0	17	42.5	122	61.0
	火	91	65.0	15	75.0	26	65.0	132	66.0
	水	77	55.0	16	80.0	16	40.0	109	54.5
	木	84	60.0	7	35.0	19	47.5	110	55.0
	金	89	63.6	17	85.0	26	65.0	132	66.0
	土	85	60.7	20	100.0	19	47.5	124	62.0
1月	月	79	56.4	6	30.0	16	40.0	101	50.5
	火	81	57.9	18	90.0	23	57.5	122	61.0
	水	76	54.3	15	75.0	15	37.5	106	53.0
	木	77	55.0	5	25.0	17	42.5	99	49.5
	金	69	49.3	8	40.0	22	55.0	99	49.5
	土	79	56.4	18	90.0	15	37.5	112	56.0
2月	月	97	69.3	8	40.0	16	40.0	121	60.5
	火	86	61.4	18	90.0	25	62.5	129	64.5
	水	71	50.7	16	80.0	14	35.0	101	50.5
	木	90	64.3	8	40.0	18	45.0	116	58.0
	金	75	53.6	15	75.0	22	55.0	112	56.0
	土	88	62.9	20	100.0	20	50.0	128	64.0
3月	月	118	67.4	15	60.0	27	54.0	160	64.0
	火	105	60.0	20	80.0	35	70.0	160	64.0
	水	100	57.1	25	100.0	25	50.0	150	60.0
	木	95	67.9	8	40.0	20	50.0	123	61.5
	金	81	57.9	13	65.0	24	60.0	118	59.0
	土	80	57.1	19	95.0	18	45.0	117	58.5
年間	月	1,101	60.4	179	68.0	248	47.5	1,495	58.8
	火	1,213	67.8	215	84.3	276	54.0	1,649	66.2
	水	1,063	58.3	210	80.1	252	48.2	1,481	58.1
	木	1,109	62.1	115	44.9	243	47.8	1,437	57.7
	金	1,132	63.3	210	82.1	280	55.0	1,568	62.8
	土	1,140	63.7	237	92.7	254	49.6	1,572	63.1

7. ホームヘルプ事業

令和2年10月の人事異動により、サービス提供責任者として正規職員1人が加わり3人体制になりました。ヘルパーは、介護職員初任者研修修了者1人が採用されました。なお、認定ヘルパーについては、研修への参加はありますが、採用にはつながりませんでした。引き続き、ヘルパー確保に取り組んでいきます。

令和3年度の改正に向けて、料金、重要事項説明書の改正及び利用者へのお知らせを作成しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎月1回、サービス提供責任者及びヘルパー全員が介して行なっている定例会が結果的に1年間中止になりました。そのため、その中で行なっていたミニ研修（主なテーマとして取りくむ予定であった「認知症」）については、4月の1回のみ開催となったため、来年度改めて、同テーマで取り組む予定です。

1	目 標	事故を最小限にするための体制づくりを行う
	評 価	<p>① 事故が発生した際の対応について、サービス提供責任者とは個別に改善策の検討を行なった。定例会が未実施のため情報共有が十分にはできなかったが、事故の増加には至らなかった。</p> <p>MC Sの活用により利用者の主に医療面に関する注意点等の情報が早く確認できるようになった。ヘルパーへも添付メールで情報発信がしやすくなったことで、発信作業も含めより早い伝達が可能となり事故や間違いの減少につながった。</p> <p>② 昨年度から取り組んでいた訪問調整やヘルパーに送る週間予定表作成の作業を、2人の職員で分担する流れをシステム化したことに加え、昨年10月の人事異動でサービス提供責任者が3人体制となり、チェック機能の強化が図られ、月途中の煩雑な変更作業での見落とし件数が減少した。</p> <p>短いサイクルでの利用ケースが増加しており、それに伴い月途中の変更も多かったが、事故件数については昨年度比で45%減少させることができた。</p> <p>システムもエクセルで作成していたものをシステム入力に変更することに取り組んできた。システムを使うことで多少手間が増える作業もあり、現状では業務の大幅な効率化にはつながっていないが、システム側へも改善の依頼を出している。</p>
2	目 標	専門職としての知識や技術を目指す
	評 価	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により定例会を実施することができなかった。そのため、全体研修については普通救命講習の更新対象者の研修を実施した。</p> <p>② 定例会を実施できなかったことで認知症の研修には取り組めなかった。また、密を避けるため複数での訪問も控えることとした。</p>

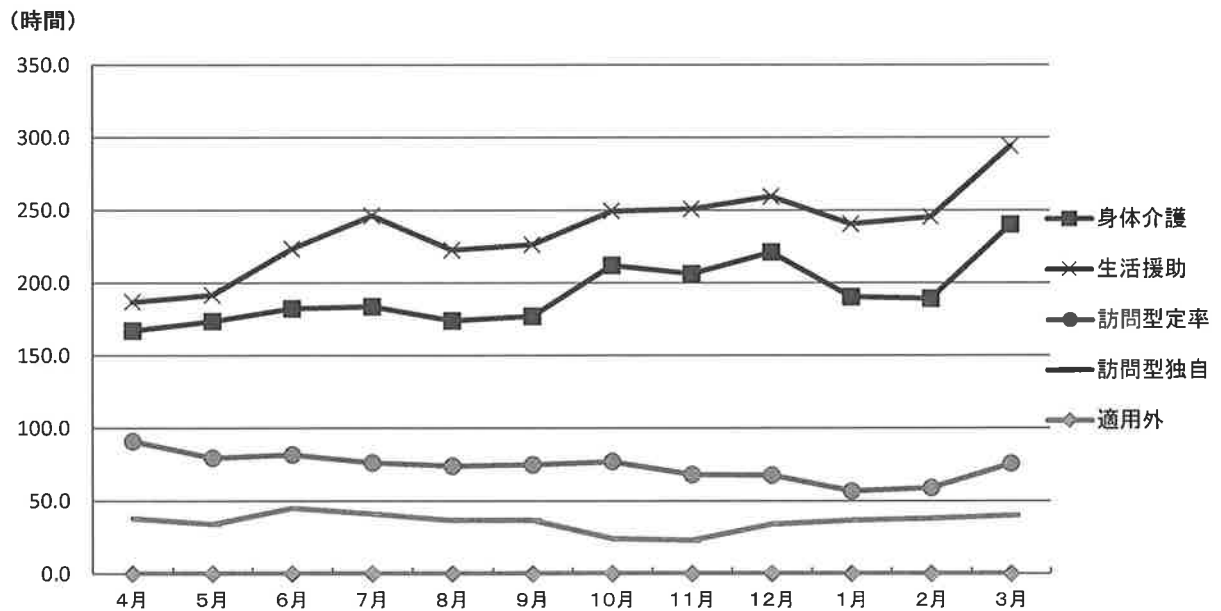
3	目 標	関係機関との連携を強化していく
	評 価	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業者連絡会の開催は1回のみとなった。内容としては、サービス提供責任者向けに訪問時の予防のための注意点やガウンテクニックなどをテーマとし、地域包括支援センター及び狛江市医師会の看護師を講師に招き実施した。</p> <p>② MCSの活用によりリアルタイムの情報が届くことで、状態がより理解しやすくなった。またこちらの情報も素早く発信でき、ヘルパーへの伝達もメール添付等で効率化が図れた。</p>

年間訪問時間数

◎訪問介護及び予防介護の訪問時間

(単位：時間)

	身体介護	生活援助	訪問型定率	訪問型独自	小計	適用外	合計
4月	167.0	186.8	91.0	38.0	482.8	0.0	482.8
5月	173.5	191.5	79.5	34.0	478.5	0.0	478.5
6月	182.3	223.3	81.8	45.0	532.5	0.0	532.5
7月	183.6	246.2	76.3	41.0	547.0	0.0	547.0
8月	173.8	222.5	74.0	36.8	507.1	0.0	507.1
9月	177.0	226.3	75.0	36.8	515.0	0.0	515.0
10月	212.0	249.3	77.0	24.0	562.3	0.0	562.3
11月	206.3	250.7	68.0	23.0	547.9	0.0	547.9
12月	221.0	259.5	67.8	34.0	582.3	0.0	582.3
1月	190.3	240.4	56.8	36.8	524.2	0.0	524.2
2月	189.2	245.4	59.0	38.0	531.6	0.0	531.6
3月	240.0	294.0	75.8	40.0	649.8	0.0	649.8
合計	2,315.9	2,835.8	881.8	427.3	6,460.7	0.0	6,460.7
平均	193.0	236.3	73.5	35.6	538.4	0.0	538.4
構成比	35.8%	43.9%	13.6%	6.6%	100.0%		



新規登録・利用終了者数推移

	新規登録数		利用終了数		利用終了理由					
	介護	総合事業	介護	予防	死亡	施設	入院	転居	軽快	その他
4月	4	1	4	0	1	0	3	0	0	0
5月	5	0	5	0	2	2	0	0	0	1
6月	4	0	3	0	0	2	0	0	1	0
7月	2	1	2	0	0	1	0	0	1	0
8月	1	0	4	0	2	1	1	0	0	0
9月	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0
10月	5	2	4	0	0	2	0	0	1	1
11月	5	0	3	0	1	1	1	0	0	0
12月	4	1	8	0	4	2	0	0	0	2
1月	3	0	4	0	2	1	0	0	0	1
2月	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0
3月	3	3	3	0	2	0	0	0	0	1
小計	43	8	42	0	15	12	6	0	3	6
合計	51		42							

* 上記数字は実際に利用を開始した月となっています。

ホームヘルプ事業稼働実績

(単位:時間)

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
訪問介護	353.8	361.0	406.3	1,121.1	429.8	396.6	403.3	1,229.6	2,350.6
予防訪問介護	129.0	117.5	126.8	373.3	117.3	110.5	111.8	339.5	712.7
計	482.8	478.5	533.1	1,494.3	547.0	507.0	515.0	1,569.0	3,063.3

(単位:時間)

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
訪問介護	450.3	457.0	480.5	1,387.8	430.8	432.8	534.0	1,397.5	2,785.3	5,135.9
予防訪問介護	112.0	91.0	101.8	304.8	93.5	97.0	115.8	306.3	611.0	1,323.7
計	562.3	548.0	582.3	1,692.5	524.3	529.8	649.8	1,703.8	3,396.3	6,459.6

8. 地域包括支援センター

(1) 総合相談支援事業

1	目 標	複雑化する高齢者の相談に対して相談機能の強化・充実を図り、地域の公的な相談窓口としての役割を果たしていく
	評 価	<p>① コロナ禍においても相談窓口として事業継続可能な体制を維持するため、感染症対策として執務室の分離やレイアウト変更、来所や訪問での相談時の感染症対策に取り組んだ。</p> <p>② 専門職のチームアプローチを基本として支援方針の検討、関係機関との連携を図り、相談支援の対応を実施した。</p> <p>③ 地域活動が中止となる中で、感染症対策を取りながら活動を行なえるよう地域の団体のサポートを行なった。</p> <p>④ 相談対応力の強化のため、オンライン研修を活用し人材育成にも継続的に取り組んだ。</p> <p>⑤ 地域の見守りの目が少なくなる中、情報誌「いこいの便り」を発行し地域包括支援センターなどの地域の相談窓口の周知活動を行なった。</p>

(2) 権利擁護事業

1	目 標	高齢者自身が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行なうことができるよう、権利擁護のための支援を行なう
	評 価	<p>① 市の担当部署と連携を取り、成年後見制度の必要な高齢者への支援を実施した。</p> <p>② 感染症対策を取りながら市、あんしん狛江、民生委員、消費生活センター、介護事業所など権利擁護に関する見守りネットワーク事業にも取り組んだ。高齢者虐待対応代表者会議などへの参加も実施した。</p> <p>③ YouTubeを活用した認知症サポーター養成講座を開催し、集合形式以外での研修会も実施した。</p> <p>④ 月1回の定例会議にもオンラインで参加し、ケース対応の進捗を市と3包括で確認し解決への検討を行なった。</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症への恐怖心から、多くの高齢者の閉じこもりの傾向がさらに強くなり、身体機能・認知機能の低下につながっている。また、消費者被害の発見も難しい状況となっている。コロナ禍での地域の見守り体制をどう構築していくかが課題となっている。</p>

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

1	目 標	多様な生活課題を抱えた高齢者が、その人らしい生活が継続できるよう課題に応じたあらゆる資源を活用し、包括的・継続的に支援していく
	評 価	<p>① 地域の介護支援専門員向けの研修会や包括主催の事例検討会など集合形式での研修がすべて中止となった。福祉従事者として高齢者への感染リスクを優先するため、集合型の研修は困難な状況となっている。ICTを活用した新しい形での研修会などへの取り組みが必要と考える。</p> <p>② 地域課題の抽出を目的とした個別ケア会議は、予防推進型個別ケア会</p>

		議1件、支援困難型個別ケア会議7件を実施した。 ③ 令和3年度から狛江市全体の個別ケア会議等で抽出された地域課題を整理する「幹事会」が創設されることとなり、包括からも委員として準備段階から参画している。
--	--	--

(4) 介護予防・日常生活支援事業

1	目 標	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、住民主体の多様なサービスを含めた幅広い支援を活用し、地域包括ケアシステムの推進を目指す
	評 価	<p>① 地域の活動団体等のインフォーマルサービスを活用することを重視し、自立支援と重度化防止の観点からケアマネジメントを実施した。</p> <p>② 介護予防教室は新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため6月までは中止となる。7月からは、人と人の距離、マスク、換気、検温等の体調確認等の感染症対策を行ないながら再開した。会場の広さの関係から人数制限をしたため、1回あたりの参加者は減少した。普及啓発活動と感染症対策を両立させるため、来年度に向けてICT機器を活用したオンライン介護予防教室の実施に向けた準備を行なった。</p> <p>③ 「こまえ苑歩こう会」はコロナ禍で参加者の減少が続いているが、感染リスクの低い屋外での運動を普及するため、来年度に向けて講師を呼ぶなど参加者の増加を図る。</p> <p>④ 生活支援としては、営業自粛の中でデリバリーをしている店舗の情報をまとめ掲示板や回覧板を利用して地域住民に情報提供した。運動や栄養など必要な情報を収集し、自宅でもできる運動の資料なども掲載した。デジタル情報にアクセスしづらい高齢者に紙ベースでの情報発信を実施した。「いこいの便り」を令和3年1月から発行開始。</p> <p>⑤ 来年度に向けてはICT機器を活用し、集合、オンラインなど様々な方法で地域への情報発信を図っていく。</p>

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

1	目 標	高齢者が安心して住みなれた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の切れ目のない連携体制を構築していく
	評 価	<p>① 年間通して105件の相談（昨年度は42件）があり、窓口事業の周知が進んでいる。</p> <p>② 病院への訪問や介護支援専門員への退院支援などは新型コロナウイルス感染症の拡大のため制限を受けたが、電話等での対応を中心に相談を受け付けた。</p> <p>③ ヘルパー事業所連絡会で訪問看護ステーションの看護師と一緒に、感染予防策の勉強会を開催し、介護職へのガウンテクニックの指導などを実施した。</p> <p>④ 市内の発熱外来の情報を収集したリストを、市内3カ所の地域包括支援センターに情報提供した。</p>

(6) 認知症総合支援事業

1	目 標	本人、家族、地域住民への支援や啓発活動を通して、認知症を抱えた人が住み慣れた地域で安心して暮らす事ができるような「孤立しない地域」作りを目指す
	評 価	<p>① オンラインを活用した連携会議を通して認知症施策について協議を継続している。地域のネットワーク形成ができています。</p> <p>② 初期集中支援チームについては相談のみで終了しており、実働の目標件数は未達となった。ケースの抽出についても継続して検討をしていく。</p> <p>③ もの忘れ相談会は6月まで中止となったが、7月からは場所を市役所防災センターに変更し再開することができた。担当エリアの相談者がいる場合には包括職員も同席し対応した。</p> <p>④ 認知症サポーター養成講座をシルバーマンションのスタッフ向けにYouTubeを活用して開催した。12人が参加した。</p> <p>⑤ 介護者の会は7月から再開し実施した。毎回3～4人名程度の介護をしている家族が参加。新しく今年度1人の方が参加されている。比較的長く参加している方もおり、新しい参加者の方の話を聞きながら話ができる環境が形成されている。参加者は介護している娘が多く、他の介護者層への働きかけも必要である。延べ20人の参加。</p> <p>⑥ 認知症カフェについては、飲食を伴う会話が前提となっており、感染症対策上開催の判断が難しい状況で再開ができていない。認知症の症状のある方に参加していただくことを前提としているため、感染症対策への理解、飛沫感染リスクの高い近距離での会話など課題も多い。市内のサロンなども中止されている状況で、再開のめどがたっていない。</p>

(7) 地域包括支援事業利用状況

1) 相談方法 (延べ件数)

令和3年3月31日現在

区分 月	電話	来所	訪問	会議	文書	FAX	その他	メール	計
4月	393	12	70	12	1	16	16	13	533
5月	316	21	65	8	5	18	15	6	454
6月	272	25	111	16	30	11	41	7	513
7月	324	19	106	26	5	11	22	12	525
8月	335	16	104	14	5	15	21	12	522
9月	297	22	109	12	1	12	17	5	475
10月	334	23	115	13	7	17	19	4	532
11月	333	15	76	15	3	16	20	6	484
12月	285	20	82	7	2	16	21	5	438
1月	323	21	73	9	3	12	31	3	475
2月	314	17	87	13	2	9	14	2	458
3月	291	27	80	13	17	32	20	6	486
合計	3,817	238	1,078	158	81	185	257	81	5,895

その他の相談方法

- ・デイサービス利用時
- ・病院内
- ・苑内他部署から

2) 相談者 (延べ件数)

本人	配偶者	子供	子供の配偶者	兄弟姉妹	孫	その他の家族		
2,485	315	672	86	46	2	61		
知人	市役所	保健所	警察	消防	民生委員	地域住民		
24	310	3	4	0	18	9		
医療関係	ケアマネジャー	サービス事業者	社会福祉協議会	その他	地域包括	あんしん狛江	匿名	合計
392	586	711	35	97	36	3	0	5,895

3) 対象者 (延べ人数)

	人数
64歳以下	100
65～69歳	178
70～74歳	526
75～79歳	1,069
80～84歳	1,567
85～89歳	1,490
90歳以上	934
不明	31
合計	5,895

4) 相談内容 (延べ件数・重複記載)

令和3年3月31日現在

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
総合相談	地域包括のみ	39	36	33	42	37	34	36	33	36	35	27	24	412	924
	その他機関	38	37	32	36	33	20	30	43	42	51	57	40	459	
	その他	3	2	7	8	6	6	4	3	3	4	4	3	53	
予防ケアプラン	サービス内容	171	128	143	127	139	134	168	136	128	141	119	130	1,664	2,990
	サービス担当者	23	19	21	27	13	19	24	17	8	17	18	19	225	
	その他	111	99	93	103	110	104	91	88	67	74	65	96	1,101	
虐待	措置入所の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時避難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅改修	自宅訪問	2	0	0	1	1	0	3	1	0	2	0	1	11	21
	改修実施	0	0	0	1	1	0	1	2	3	1	0	1	10	
権利擁護	成年後見制度	1	5	19	9	3	5	8	0	3	1	9	1	64	265
	高齢者虐待	14	15	6	15	16	6	4	3	10	1	4	4	98	
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	困難事例	2	5	2	7	6	1	5	10	10	3	8	8	67	
	消費者被害	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	
	地域権利擁護	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	
	その他	0	0	0	0	0	1	6	5	12	6	0	0	30	
包括ケアマネジメント	CMからの相談	8	21	15	26	22	18	23	26	22	18	18	15	232	321
	関係機関	2	10	12	7	5	5	10	8	11	5	9	0	84	
	包括からの相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	
二次予防	相談														0
	プラン作成 モニタリング														
成年後見	親族申立	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	3
	市区町村申立	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計		414	378	383	410	392	355	415	375	357	359	341	345	4,524	4,524

5) 申請代行内訳

①市役所

配食サービス	18
特養入所申請	0
日常生活用具	8
ガス安全システム	0
自立支援住宅改修 (予防改修・設備改修)	6
理美容サービス	4
徘徊探索サービス	5
介護用品支給等	21
緊急通報システム	0
寝具洗濯	0
あんしん見守り	13
ゴミ出しサポート事業	2
合計	77

②介護保険

介護保険 (要介護・要支援) 認定申請書 新規・更新・変更	301
介護 (予防) サービス計画書届出書 予・居・総	157
住宅改修	13
福祉用具購入	0
福祉用具貸与	0
軽度福祉用具	8
介護保険負担限度額認定	0
高額介護サービス費	0
特別給付	0
負担減額	0
情報提供申請書兼同意書	185
チェックリスト	4
合計	668

6) 要介護度別 相談延べ件数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	
1,028	1,836	534	187	129	156	
要介護5	非該当	事業対象者	未申請	申請中	不明	合計
70	8	444	496	911	96	5,895

7) 地域包括支援センター 加算事業実績

令和3年3月31日現在

事業内容	単価	件数 (回数)	小計
日常生活用具アセスメント	2,700	7	18,900
住宅改修理由書作成 (自立)	2,700	6	16,200
住宅改修理由書作成 (介護保険)	2,700	8	21,600
住宅 (着工前) 適正化調査票	2,700	0	0
福祉用具 (購入) 適正化調査票	2,700	0	0
介護予防普及啓発事業	30,000	27	810,000
家族介護者教室	30,000	2	60,000
地域ケア会議 謝礼	6,900 /h	3 (3.5時間)	24,150
合 計			926,700

8) 予防ケアプラン<新規及び終了者数>

右側カッコ内は委託数の再掲

月	区分 ケアプラン 作成数	新規	終 了				
			非該当	介護給付 へ移行	施設入所	死去	その他
4月	216 (23)	4		5 (1)			1 (1)
5月	219 (21)	3		8 (1)		1	3
6月	217 (22)	1		7			
7月	215 (23)	2		4			
8月	219 (24)	4		2 (1)			
9月	216 (23)	5 (1)		2			
10月	217 (27)	2 (1)		5			2 (1)
11月	204 (24)	6		4	1		1
12月	215 (24)	6 (1)		4			3
1月	207 (22)	1					1
2月	203 (22)	6 (1)		6 (2)		1	1
3月	203 (22)	9		3		1 (1)	4
合 計	2,551 (277)	49 (4)	0 (0)	50 (5)	1 (0)	3 (1)	16 (2)

介護予防支援事業 実績報告

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
自法人作成	190	200	193	583	194	191	192	577	1,160
委託先作成	23	21	22	66	23	23	23	69	135
計	213	221	215	649	217	214	215	646	1,295

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
自法人作成	191	183	183	557	182	181	180	543	1,100	2,260
委託先作成	25	24	24	73	23	23	23	69	142	277
計	216	207	207	630	205	204	203	612	1,242	2,537

9. 居宅介護支援事業所

1	目 標	地域福祉のニーズに応え、質の高いケアマネジメントを実践し、信頼される事業所を目指します
	評 価	<p>① 課内の定期ミーティングで情報共有や事例検討を行ない、業務の平準化とケアマネジメント力の相互育成に努め、担当者不在の場合も滞りなく対応することができた。</p> <p>② 虐待やサービス拒否、経済的困窮や本人や家族の精神疾患など、多問題を抱える家庭の支援困難ケースの対応については、地域包括支援センターや市役所担当者、保健所、成年後見人、障がいサービス担当者等と多職種連携のチーム体制で対応した。</p> <p>③ 認定調査は、新型コロナウイルス感染症予防の特例措置により調査件数が減ったこともあり、年度を通し狛江市からの調査委託はゼロとなり、他県から1件を受託した。</p> <p>④ ケアプラン担当件数は一人当たり35件を目標におき、4月スタート時点の総数147件から、目標値の194件以上の達成に向け営業活動を行なった。年度末の実績は189件（保留5件を含まず）となり、実質上の数値は目標を達成した。</p>
2	目 標	人材育成の仕組みを整備する
	評 価	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響で、ケアマネジャー向けの外部研修や事例検討会のほとんどが中止となり、わずかに開催された地域包括支援センター主催の研修に3回参加した。</p> <p>② 介護支援専門員実務研修生については、10月に対象者1人の受け入れを行ない、1月の実習希望者に関しては、新型コロナウイルス感染症予防のため延期とした。</p> <p>③ 前年度から引き続き、課内の主任介護支援専門員の資格保有者は3人となっている。</p>
3	目 標	地域包括ケアシステムの構築に主体的に参画し、地域特有の課題や様々な社会資源の情報を活用し、安心して暮らせる地域づくりに貢献する。
	評 価	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡大のため、狛江市介護支援専門員連絡会、主任介護支援専門員連絡会、他事業所と共催の研修「チームK」などはすべて開催中止となり、活動の場がなかった。</p> <p>② 医療と介護の連携については、MCSなどのソーシャルネットワークの活用により、訪問診療・訪問看護などの医療関係者と介護サービス事業者間でスピード感ある情報共有を行なうことができた。</p>

(4) 居宅介護支援事業利用状況

令和2年度

1) 加算対象(年間延べ件数)

初回	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院退所 Ⅰ 1	退院退所 Ⅰ 2	退院退所 Ⅱ 1	退院退所 Ⅱ 2	退院退所 Ⅲ	小規模 多機能型 連携
107	32	7	13	0	15	0	0	0
小規模 多機能型 連携	中山間地 加算	看小多機 能連携	緊急時等 カンファ	ターミナ ル加算	特定事業 所加算Ⅱ	特定事業 所加算Ⅲ	運営基準 減算	
0	0	0	0	3	2,047	0	0	

2) 認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0	1	0	0	0	0	0	0	0
1月	2月	3月	合計					
0	0	0	1					

3) 自事業所利用割合

*訪問介護	*通所介護	認知症通所介護	短期入所
37.0%	45.5%	54.2%	49.2%

*特定事業所集中減算対象(一定条件のもと80%超は減算)

令和2年度 居宅介護支援事業実績

目標値：ケアマネ常勤換算一人あたり 35～39件

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要介護1	58	61	65	184	65	63	63	191	375
要介護2	41	46	50	137	51	48	46	145	282
要介護3	18	19	19	56	19	20	21	60	116
要介護4	19	22	23	64	25	24	26	75	139
要介護5	11	11	9	31	8	7	8	23	54
計	147	159	166	472	168	162	164	494	966
常勤換算/人	5.6	5.6	5.6		5.6	5.6	5.6		
一人あたり件数	26.5	28.6	29.9	28.3	30.3	29.2	29.5	29.7	29.0

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要介護1	70	71	70	211	67	67	68	202	413	788
要介護2	46	47	49	142	49	48	50	147	289	571
要介護3	17	20	20	57	22	25	24	71	128	244
要介護4	29	30	31	90	31	31	34	96	186	325
要介護5	10	9	11	30	11	11	13	35	65	119
保留	0	0	0	0	0	0	(5)	0	0	(5)
計	172	177	181	530	180	182	189	551	1,081	2,047
常勤換算/人	5.6	5.6	5.6		5.6	5.6	5.6			
一人あたり件数	31.0	31.9	32.6	24.6	32.4	32.8	34.1	33.1	32.5	30.7